

公共用水域における LAS の同族体毎の検出状況について

我が国の公共用水域から検出されるアルキル基の炭素数の異なる LAS (同族体) 毎の濃度比は、C10 19%、C11 36%、C12 29%、C13 7%であった^{*1}。

アルキル基の炭素数 (アルキル鎖長) の平均は、地点により異なっているが、10.4~12.6 の範囲で、11.6 の地点が最も多い。また、これらの地点の平均鎖長の 50 パーセンタイル値は 11.3 であった^{*1}。

(参考) 商用 LAS のアルキル鎖長分布 (%) ^{*2}

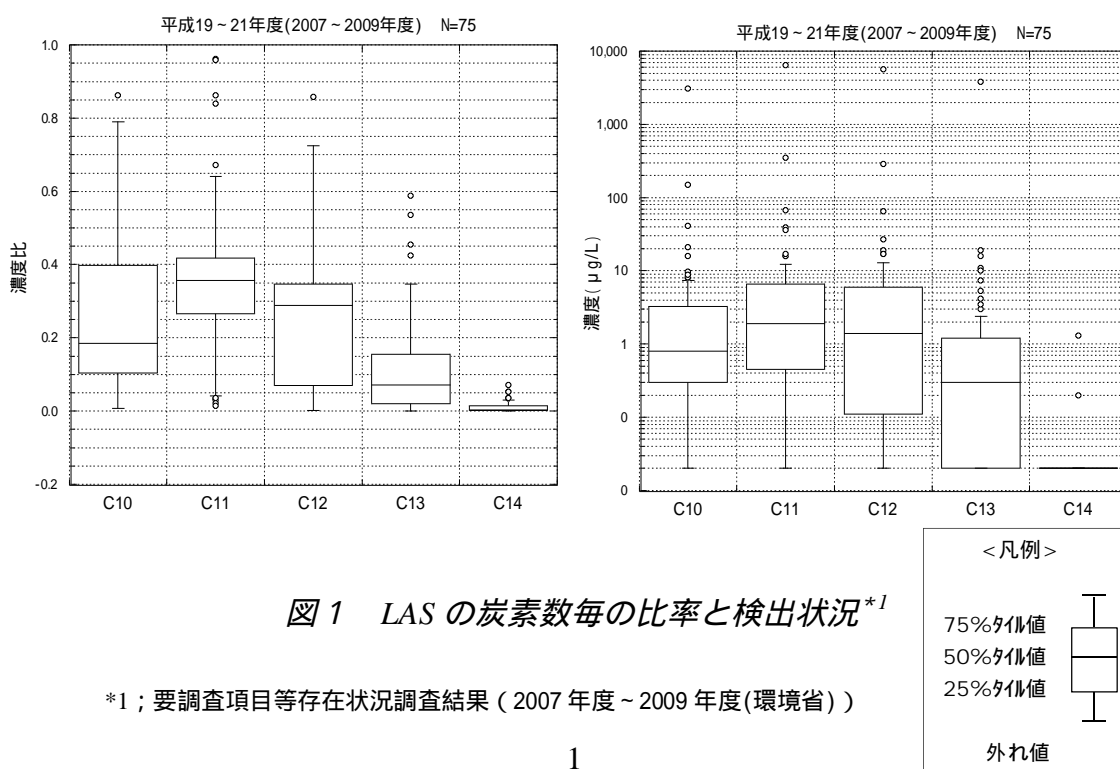
<C ₁₀	C ₁₀	C ₁₁	C ₁₂	C ₁₃	C ₁₄	>C ₁₄	平均アルキル鎖長
1	7~16	19~39	20~50	5~27	<1~3	<1	11.8

*2 ; OECD High Production Volume Chemicals REPrAm (2005): SIDS (Screening Information Data Set) Initial Assessment Report.

1. 公共用水域における炭素数ごとの検出状況

平成 19 年度から平成 21 年度に実施された要調査項目等存在状況調査において、LAS が検出された調査結果を用いて、同族体の濃度比率と鎖長毎の検出状況を整理すると図 1 の通りである。

各同族体の濃度比率の 50 パーセンタイル値をみると、C11 が最も大きく 0.36、次いで C12 0.29、C10 0.19、C13 0.07 であった。



各検出結果から算出した平均鎖長は、10.3～12.6の範囲であった（図2）。また、平均鎖長の累積度数分布でみると、全データの50パーセンタイル値は11.3であった（図3）。

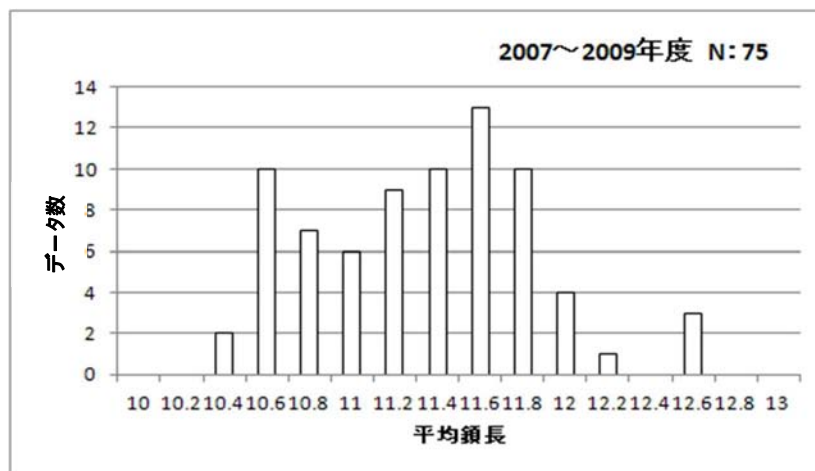


図2 LASの平均鎖長のヒストグラム^{*1}

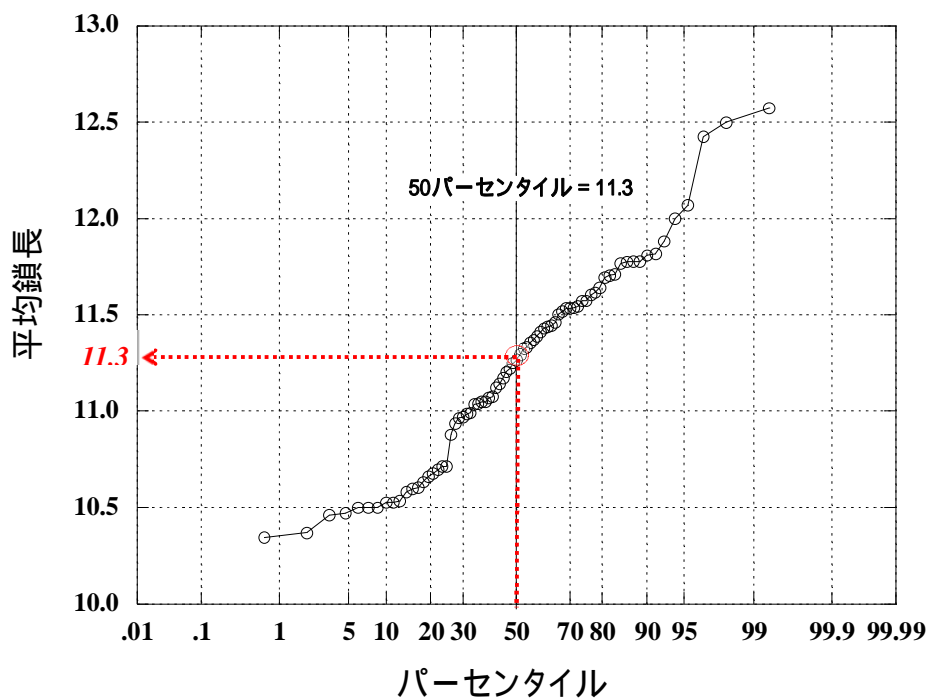


図3 平均鎖長の累積度数分布図^{*1}

*1；要調査項目等存在状況調査結果（2007年度～2009年度(環境省)）